

省力化投資補助金で導入した配膳ロボットが活躍！ 飲食店の省力化

商工会では、人手不足に悩む事業者に対して支援しています。
今回は、地域内で初めて省力化投資補助金を活用し、配膳ロボットを導入した湖東3町商工会員の事例をご紹介します。

会員事業所の取組事例

酒場ダイニングわたべ

代表者 渡部 実さん 所在地 南秋田郡八郎潟町
事業内容 居酒屋 従業員数 1名 営業時間 17:00～23:30



店舗の外観

配膳ロボット導入の理由

現状・悩み	<ul style="list-style-type: none"> 調理担当の代表と、配膳担当の従業員の2名体制で営業している。 混雑時にはサービス提供が遅れ、お客様をお待たせしている状況があった。 代表及び従業員ともに、体力に不安を感じていた。
配膳ロボットのメリット	<ul style="list-style-type: none"> 一回で6皿を同時に運ぶことができる。 皿を落とす等のリスクを避けることができる。 地域の個店にはない取組であるため、話題性がある。

▶▶▶ 省力化投資補助金申請から約2ヵ月半で配膳ロボットが到着。

効果

配膳ロボットを3ヵ月使用した結果

作業効率の改善

- 配膳の往復回数(1日) 2人で約80回減少
- 配膳時間 70分減少

話題性

- SNSのフォロワー数 10%増加
- 地元新聞紙での掲載

客数増加

- 配膳ロボット導入後の来客数 15%増加

店主お気に入りの
楽曲とともに登場！



【導入した配膳ロボット】

事業者の声

代表 渡部 実さん

省力化投資補助金で、約81万円の配膳ロボットを2分の1の負担で導入することができました。申請後、すぐにロボットを使用することができて良かったです。
配膳ロボットのおかげで時間と気持ちに余裕ができ、店舗の環境改善やメニュー考案、SNS掲載など、お客様へ細部まで真心を込めたサービスが提供できるようになりました。
個人店にロボットがいることで話題になり、新規顧客獲得にも繋がり、良いことづくめです。申請がとにかく簡単でスムーズなので、設備導入を検討の方にはぜひオススメです。



指導員の声

湖東3町商工会 高堂 倫子 指導員

渡部代表の悩みに対して、一番効果がある設備を検討した際に、浮かんだのが当補助金で導入できる配膳ロボットでした。町内外から愛される名店として長く続けて頂くためには、人手不足・体力の衰えを補う取組はどの地域の事業所にも必要不可欠です。

ロボットの販売業者とのオンライン面談への同席や資金計画の策定への支援など、渡部代表が安心して配膳ロボットを導入できるよう心掛けました。

